

どうとくのひろば



1年生の道徳の授業

主題名：みんなとなかよく

ねらい：【公正，公平，社会正義】

自分の好き嫌いにとらわれずによく考えて行動することのよさに気づき，誰に対しても公正，公平に接しようとする心情を育てる。

教材名：「じゃんけんぼん」

あらすじ：こうきさんは，ドッジボールをするときに仲よしのやすしさんと一緒にチームになれなかったため，参加しなかった。みのりさんが誘いに来たが，「みのりさんよりやすしさんのほうがいい」と言ってしまう。

授業での具体的な様子

一年生の子供たちは，これまでの道徳の時間に自分の好き嫌いにとられないで接することの大切さを学んでいます。教材文を読んだ子供たちは，「こうきさんの行動がよくないと思った」と感想をもちました。そこで，まずどこがよくなかったのかを考え，話し合いました。「好きな人と違うチームになって，ドッジボールをしなかったのがよくない」，「じゃんけんで決めたのに，自分勝手にしているのがよくない」，「みのりさんにひどいことを言ったのがよくない」など，周囲の状況を考えずに自分の気持ちを押し通そうとしたり，好き嫌いにこだわって友達を区別して接したりすることがよくなかったことを明らかにしていきました。次に，こうきさんがどうすればよかったか，理由も一緒に考える時間をとることで，「自分も友達もニコニコ笑顔になれないから，決まったチームに入れればよかった」，「みのりさんが悲しい気持ちにならないように，ひどいことを言わなければよかった」といった意見が出され，こうきさんが自分の気持ちを押し通そうとしたことで，みのりさんを悲しい気持ちにさせてしまったことに気が付きました。そして，下を向くこうきさんの気持ちを友達と話し合いながら，自己中心的な思いが，周囲の友達の心を傷つけることがあることについて，さらに考えていきました。

一年生の段階は，発達の特性から自己中心的な考えをしがちで，公平さを欠く言動をとることがあるかもしれません。しかし，自分だけでなく，周りの人たちも楽しい気持ちで生活するために，誰に対しても公正，公平な態度で接することを日常生活でも大切にしていってほしいです。

子供たちの振り返り

- これから好きな子と一緒にいなくても，一緒にチームの人と仲良くなれるかもしれないから，考えて行動したい。
- これからもみんなを悲しませないように自分が遊べば，みんなも楽しくなると思った。
- ダンスを考えるときに，自分の考えだけを言うんじゃなくて，みんなの話を聞いて一緒に考えるようにしたい。
- 自分が大好きな友達と話す方が多かったから，クラスみんなを大事にして，話を聞いたり，遊んだりしたい。



切り取り

道徳だよりへのご質問・ご感想

() 年 () 組 児童名 ()

